種智院大學同窓會報

第39号　平成24年12月1日
種智院大学同窓会
〒612−8156
京都市伏見区向島西定請70　種智院大学内
TEL(075)604-5600　FAX(075)604-5610
e-mail　info@kechien.net

平成24年度同窓会総会報告

○総会報告

平成24年年度種智院大学総会は、7月19日（火）午後1時より母校種智院大学講義室401で開催された。総会に先立ち、物故者慰霊法要がおこなわれ、つづいて昨年10月に密教学芸賞を受賞された種智院大学教授中村幸真先生に、同窓会から御祝が贈呈された。これに対して中村先生からお礼のご挨拶があり、大学のため真言宗のための今後も頑張りたいと、今後の抱負を述べられた。

総会に入り、鷲尾遍隆会長の挨拶があり、何とか学校を支えていけたらとの思いを述べられた。

続いての学長挨拶は、代理の児玉義隆副学長が講義中のため、終わり次第お越しいただきご挨拶をいただくこととした。

議事では、杉崎圓覚副会長（昭和54）を座長に選出した。

【審議事項】

①平成23年度事業報告ならびに会計報告（会計監査報告を含む）

資料にしたがって事務局から説明があり、異議質問等なく承認。

②平成24年度事業計画（案）ならびに予算（案）

資料にしたがって事務局から説明があり、異議質問等なく承認。

③特別事業実行委員会について

特別事業実行委員会上田霊宣委員長（昭和55）より意見陳述。これまでの活動の経過が述べられ、今後も積極的に事業をすすめて大学を支援していけるようにするためには、通常年に一度しか開かれない総会の承認をまっての事業推進は大変困難であること。年会費徴収の問題も含めて、活発な事業をおこなえる実行力ある組織に作りかえていく。そういうことも考えていくべき時期に来てい

るのではないか。そのための骨組みを考え、あらためて提案させていただきたいと思う。

この件に対して了承され、時間をかけてたたき台をつくることとなった。

④高雄灌頂について

平成高雄灌頂実行委員長大塚知明師（平成２）より説明。弘法大師高雄灌頂開壇より1200年目にあたる今年の実施にむけて、はじめは同窓会特別事業として企画を検討したが、時間的に見て総会の承認手続き等に無理があるため、同窓会とは別に実行委員会を設けて運営を進めている。その他これまでの経過等が報告された。

杉崎座長より、同窓会は本事業に協賛しているので、協賛金200万円を支援させていただくこととしたと説明があり、予算案での賛同に続いて再度の賛同を得た。

⑤その他

特になし。

【協議事項】

①種智院大学への支援

事業活動等における収支差額を大学への支援に役立てる方針であるが、予算の組み込みが必要なこともあり、実際の支援のあり方などを協議。大学側からの書面による支援の要請を求め、それによって役員会等で審議していく方向で了承された。

②種智院大学同窓会研究助成金について

まだ正式な要請はなく、今後のことなのでまだ明確には決められないが、書面による要請を受けた時点で幹事会等で検討し判断する。そして、それを会報ないし総会において報告するということで承認された。

③その他

経営の赤字が出ている学校食堂に対する補助金の要請があった。ひと月３万円から５万円という形での依頼で、緊急な課題であるので事務局へ一任というかたちで予備費の中から拠出することで承認された。

【報告事項】

①同窓会奨学金について

毎年４名の奨学生を対象に予算を組んでいるが、最近の現状では２名もしくは３名にとどまっている。この点も検討課題であること。今年は３名に支給する予定であることが報告された。

②その他

元奈良支部の村岸定光師（昭和48）より、昨年度奈良支部と大阪支部の合併が承認されて発足した近畿支部について、奈良、大阪在住者以外でも会則に賛同し協力していただける方なら入会できるので、今後の支部活動をますます活発にしてくためよろしくお願いしますとの発言があった。

以上をもって議事を終了。続いて講義を終えて来られた児玉義隆副学長より、所用によって総会に出席できない村主康瑞学長に代わってご挨拶があった。

最近の入学者数などの現状が報告され、（入学者拡充のため）ご協力を仰ぎたいこと。経営本山の増強、各学院と単位互換などの提携、高野山大学とも単位互換の協議が進められていること、寄付口座・公開講座を通じて大学の知名度向上など、その他大学としての様々な取り組みが報告され、今後とも同窓会の皆さんにはご協力をお願いしますと話された。

総会後、講義室306に移動して廣瀬郁実先生の記念講演「ただ、生きる」を拝聴した。

マンダラ広場で記念撮影の後、京都ホテルオークラにおいて懇親会が行われ、この席には村主康瑞学長も来られご挨拶をいただき、また昨年10月に密教学芸賞を受賞された現在種智院大学非常勤講師をつとめられている長谷法寿師に御祝が贈呈され、長谷氏のご挨拶があった。和やかな内に会はすすめられ、みなそれぞれ親交を深め来年の再会を約して散会した。

平成24年度種智院大学同窓会総会出席者

卒年	氏　名	卒年	氏　名	卒年	氏　名	卒年	氏　名
昭23	手塚　利貞	昭54	鷲尾　遍隆	昭61	見城　雅俊	平22	田中　浩彰
昭28	加門　得勇	昭55	上田　霊宣	昭62	山下　高仙	平22	三木　龍圓
昭31	手塚　節	昭55	長谷　法寿	平02	大塚　知明	賛助	明石　隆行
昭36	大塚　聖純	昭56	北尾　隆心	平02	沖津　祐照	賛助	児玉　義隆
昭47	都筑　大乗	昭56	宮崎　快尭	平08	湯通堂法姫	賛助	村主　康瑞
昭48	村岸　定光	昭57	宇垣　泰明	平09	川原　一修	賛助	松本　峰哲
昭51	國定　道晃	昭59	橋本江理子	平09	鈴木　弘昭	学生	金田　涼子
昭54	内山　仁空	昭59	森田　俊尚	平11	田中　富三	学生	森　春輝
昭54	岡田　幸恵	昭60	佐野　剛空	平12	海老原真紀		
昭54	杉崎　圓覚	昭60	南　本源	平12	シャキャ・スダン		
昭54	新見　和言	昭60	吉田　大治	平18	山中　弘道		

ごあいさつ

種智院大学学長　村主 康瑞

種智院大学同窓会の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日ごろは何かと種智院大学にご高配いただきまして、誠にありがとうございます。あつく御礼申し上げます。

本年度は、新入生の数が卒業生の数よりも上回り、関係者一同安堵しております。この傾向が、今後とも続いて行くように努力いたすつもりです。また、昨年ご案内しておりましたが、今年度より各本山の学院との提携が始まりました。まず、御室派の仁和密教学院、大覚寺の伝灯学院とも今夏調印いたしました。来年度からは、それぞれの学院を卒業された方は、履修された科目と加行を大学の単位に読み替えて卒業していただけることになりました。

また、昨年度学校法人綜藝種智院は総黌創立以来130周年を迎え、今春にかけてさまざまな記念行事を催しました。中でも、特任教授の潮弘憲先生には理趣三昧法会声明を録音していただき、ＣＤで頒布いたしましたところ大変ご好評を頂戴いたしました。その後、潮弘憲先生には声明の講習会も開催していただき、こちらもたくさんの方にお申し込みいただきました。

さらに、大学講座の中に寺院運営論を開設し、学長が主体となり、会計、法律関係の専門の先生方にもお越しいただき、進めております。将来の寺院運営に大きな戦力となることを願っております。

このように、元気な種智院大学をお知らせできますことは、大変喜ばしいことと思っております。卒業生の皆様方には、さらにご助力賜り、より発展させていただきたく存じます。何とぞよろしくお願い申し上げます。

マンダラ広場に聖観音像建立

種智院大学では、村主学長の発願により、校舎中央のマンダラ広場に聖観世音菩薩立像を建立することになった。これは、一昨年の修行大師、昨年の不動明王に続くもので、大学の正門を入ると最初に眼をひきつける。来訪者には、なんびとを問わずまず神仏に敬崇の想いを持ってもらいたい。併せて、学内外の安穏と発展を願う学長の思いが反映されたものである。

この建立にあたり、話を耳にした聴講生から寄付の申し出があった。これをきっかけに、広く学内に寄付をお願いしたところ、同窓会員の荒川瑤盛師（平成22）が、快く本人と家族・知人で、合わせて108万円を寄贈された。なお、この知人の中には、歌手のイルカさんもご本名で寄贈されておられるとのこと。

これによって、計画が一気に進み、来る12月11日（火）常楽会の後、学長を導師に教職員・学生が職衆となり、除幕・開眼法要が営まれることになった。

平成23年度事業報告・決算諸表

種智院大学同窓会　平成23年度事業報告

1．会計監査
　日　時　平成23年６月22日㈬
　場　所　種智院大学　研究室420（同窓会事務局）

1．平成23年度　大阪支部総会・懇親会
　日　時　平成23年６月30日㈭18時30分
　場　所　すたんど割烹日本（大阪市中央区）

1．平成23年度種智院大学同窓会奨学金給付
　日　時　平成23年７月15日㈮（２名）

1．幹事会
　日　時　平成23年７月26日㈫11時
　場　所　種智院大学　第１会議室

1．物故者慰霊法要
　日　時　平成23年７月26日㈫13時00分
　場　所　種智院大学　講義室401

1．総会
　日　時　平成23年７月26日㈫13時10分
　場　所　種智院大学　講義室401

1．記念講演
　日　時　平成23年７月26日㈫15時00分
　場　所　種智院大学　講義室306
　演　題　悲しみに寄り添う
　　―非常時の心のケア・宗教者にできること
　講　師　国際協力NGO「JEN」
　　事務局長　木山啓子　先生

1．懇親会
　日　時　平成23年７月26日㈫17時30分
　場　所　からすま京都ホテル　紫明の間

1．平成23年春学期　卒業証書・学位記授与式
　日　時　平成23年９月15日㈭14時00分
　場　所　種智院大学　第１会議室
　卒業記念品　　腕輪念珠（２名）

1．会報発行
　38号　平成23年12月1日

1．特別事業
　諸加持作法講習会
　　日　時　平成23年９月８㈭～９日㈮
　　場　所　種智院大学　講義室306
　　講　師　千光寺院家　大塚　静遍　先生
　『宿曜経』講習会（東京）
　　日　時　平成23年10月３㈭～４日㈮
　　場　所　高野山東京別院
　　講　師　種智院大学　名誉教授
　　頼富　本宏　先生
　宿曜占星法講習会（東京）（第１回）
　　日　時　平成23年11月10日㈭～11日㈮
　　場　所　高野山東京別院
　　講　師　天台寺門宗本山布教師・金翅鳥院住職
　　羽田　守快　先生
　宿曜占星法講習会（東京）（第２回）
　　日　時　平成24年２月13㈪～14日㈫
　　場　所　高野山東京別院
　　講　師　天台寺門宗本山布教師・金翅鳥院住職
　　羽田　守快　先生

1．平成23年度　第60回卒業証書・学位記授与式
　日　時　平成24年３月15日㈫10時
　場　所　種智院大学　講堂
　同窓会長賞　記念品（２名）
　卒業記念品　腕輪念珠（36名）

貸　借　対　照　表（平成24年3月31日現在）

種智院大学同窓会
（単位、円）

科目	金額		科目	金額	
Ⅰ資産の部			Ⅱ負債の部		
現　金	0		未払金	16,800	
預　金	26,027,541		負債合計		16,800
学　債	10,000,000		Ⅲ正味財産の部		
資産合計		36,027,541	前期繰越正味財産	28,924,966	
			奨学事業積立金	6,827,788	
			当期正味財産増加額	257,987	
			正味財産合計		36,010,741
		36,027,541			36,027,541

収　支　計　算　書

自、平成23年4月1日　　至、平成24年3月31日

種智院大学同窓会
（単位、円）

科　目	予算額	決算額	差　異	備　考
Ⅰ収入の部				
会費収入	1,200,000	1,170,000	△ 30,000	3万×39名
受取利息	10,000	29,250	19,250	郵便定期利息(25,578)含む
総会事業収入	(240,000)	(224,000)	△ 16,000	
奨学事業収入	(1,301,000)	(1,106,113)	(△ 194,887)	
特別事業収入	(13,380,000)	(7,246,450)	(△ 6,133,550)	
当期収入合計(A)	16,131,000	9,775,813	△ 6,355,187	
前期繰越収支差額	(28,924,966)	28,924,966	0	
収入合計(B)	45,055,966	38,700,779	△ 6,355,187	
Ⅱ支出の部				
1.事業費	[9,665,000]	[8,307,192]	[△ 1,357,808]	
総会事業費	(1,055,000)	(1,203,323)	(△ 148,323)	
会報発行費	(550,000)	(551,519)	1,519	
奨学事業支出	(820,000)	(413,345)	(△ 406,655)	
特別事業支出	(6,890,000)	(5,819,185)	(△ 1,070,815)	
卒業記念事業費	100,000	65,420	△ 34,580	会長賞、記念品代
IT事業費	250,000	254,400	4,400	ウェブサイト制作運営費
2.管理費	[1,070,000]	[1,210,634]	[140,634]	
業務委託費	120,000	117,472	△ 2,528	会員情報管理業務
事務委託費	50,000	50,000	0	大学へ事務手数料
人件費	360,000	452,460	92,460	学生東北派遣(13万円)含む
会議費	100,000	111,520	11,520	
旅費交通費	50,000	42,185	△ 7,815	
印刷費	50,000	7,600	△ 42,400	
通信費	150,000	179,948	29,948	郵送費、電話代等
消耗品費	70,000	24,539	△ 45,461	
慶弔費	100,000	212,980	112,980	
雑費	20,000	11,930	△ 8,070	プリンタ修繕費等
3.予備費	[500,000]	[0]	[△ 500,000]	
予備費	500,000	0	△ 500,000	
当期支出合計(C)	11,235,000	9,517,826	△ 1,717,174	
当期収支差額(A)－(C)	4,896,000	257,987	△ 4,638,013	
次期繰越収支差額(B)－(C)	33,820,966	29,182,953	△ 4,638,013	

平成23年度会計監査報告書

平成23年度決算諸表を別紙のとおり報告します。
　平成24年６月12日
　　種智院大学同窓会事務局　　明石隆行

　　種智院大学同窓会事務局　会計　内山仁宏

　別紙報告書に対し精査の結果、種智院大学同窓会の会計処理が、適正に執行されていることを認めます。
　平成24年７月３日
　　種智院大学同窓会　監査　　御堀文章

　　種智院大学同窓会　監査　　佐野剛宣

収支差額処分案

前期繰越収支差額	28,924,966円
当期収支差額	257,987円
計	29,182,953円

上記金額を次の通り処分する。

1.奨学事業積立金	692,768円
2.次期繰越収支差額	28,490,185円
計	29,182,953円

平成24年度事業計画・予算書

平成24年度事業計画

1．事務局会議
　日　時　平成24年＊月＊日（＊）＊時
　場　所　種智院大学　第＊会議室

1．平成24年度　近畿支部総会・懇親会
　日　時　平成24年６月29日㈮19時00分
　場　所　すたんど割烹日本（大阪市中央区）

1．会計監査
　日　時　平成24年７月３日㈫
　場　所　南丹病院

1．幹事会
　日　時　平成24年７月19日㈭11時
　場　所　種智院大学　第１会議室

1．物故者慰霊法要
　日　時　平成24年７月19日㈭13時00分
　場　所　種智院大学　講義室401

1．総会
　日　時　平成24年７月19日㈭13時10分
　場　所　種智院大学　講義室401

1．記念講演
　日　時　平成24年７月19日㈭15時00分
　場　所　種智院大学　講義室306
　演　題　ただ、生きる！
　講　師　廣瀬郁実　先生

1．懇親会
　日　時　平成24年７月19日㈭17時30分
　場　所　京都ホテルオークラ　曲水の間

1．平成24年度種智院大学同窓会奨学金給付
　日　時　平成24年７月20日㈮（３名）

1．平成24年春学期　卒業証書・学位記授与式
　日　時　平成24年９月14日㈮14時00分
　場　所　種智院大学　第１会議室
　卒業記念品　腕輪念珠（１名）＊

1．会報発行
　39号　平成24年11月ごろ

1．特別事業
　宿曜占星法講習会（東京）（第３回）
　　日　時　平成24年４月26日㈭～27日㈮
　　場　所　高野山東京別院
　　講　師　天台寺門宗本山布教師・金翅鳥院住職
　　羽田　守快　先生
　伝法灌頂『野沢通用式』講習会（第１回）
　　日　時　平成24年６月25日㈪～26日㈫
　　場　所　真言宗智山派宗務庁　大講堂
　　講　師　甲田　宥畔　先生
　伝法灌頂『野沢通用式』講習会（第２回）
　　日　時　平成24年８月30㈭～31日㈮
　　場　所　種智院大学　講義室306
　　講　師　甲田　宥畔　先生
　星供護摩作法伝授
　　日　時　平成25年１月ごろ
　　場　所　種智院大学　講義室306
　　講　師　大門寺住職　添野　智譲　先生

1．平成24年度　第61回卒業証書・学位記授与式
　日　時　平成25年３月15日㈮10時
　場　所　種智院大学　講堂
　同窓会長賞　記念品（２名）
　卒業記念品　腕輪念珠（48名）＊

＊は予定

収　支　予　算　書

自、平成24年04月01日　　至、平成25年03月31日

種智院大学同窓会
（単位、円）

科　目	予算額	前年度予算額	差　異	備　考
Ⅰ収入の部				
会費収入	1,320,000	1,200,000	120,000	@3万×44名
雑収入	10,000	10,000	0	受取利息等
総会事業収入	(240,000)	(240,000)	(0)	
奨学事業収入	(1,101,000)	(1,301,000)	(△ 200,000)	
寄付金収入	1,100,000	1,300,000	△ 200,000	
雑収入	1,000	1,000	0	受取利息等
特別事業収入	(10,766,000)	(13,380,000)	(△ 2,614,000)	
受講料教材費収入	10,600,000	13,150,000	△ 2,550,000	
当期収入合計(A)	13,437,000	16,131,000	△ 2,694,000	
前期繰越収支差額	28,490,185	28,924,966	△ 434,781	
収入合計(B)	41,927,185	45,055,966	△ 3,128,781	
Ⅱ支出の部				
1.事業費	[9,471,200]	[9,665,000]	[△ 193,800]	
総会事業費	(1,250,000)	(1,055,000)	(195,000)	
会報発行費	(560,000)	(550,000)	10,000	
奨学事業支出	(820,000)	(820,000)	(0)	
卒業記念事業費	(100,000)	(100,000)	(0)	
ＩＴ事業費	(250,000)	(250,000)	(0)	
特別事業支出	(6,491,200)	(6,890,000)	(△ 398,800)	
2.管理費	[1,330,000]	[1,070,000]	[260,000]	
事務委託費	50,000	50,000	0	事務代行手数料（大学）
業務委託費	120,000	120,000	0	会員情報管理業務
印刷製本費	20,000	50,000	△ 30,000	
通信費	180,000	150,000	30,000	
消耗品費	70,000	70,000	0	
人件費	480,000	360,000	120,000	4万×12カ月
旅費交通費	50,000	50,000	0	
会議費	120,000	100,000	20,000	
接待交際費	20,000	0	20,000	
慶弔費	200,000	100,000	100,000	
雑費	20,000	20,000	0	支払手数料その他
3.予備費	[1,000,000]	[500,000]	[500,000]	
予備費	1,000,000	500,000	500,000	
当期支出合計(C)	11,801,200	11,235,000	566,200	
当期収支差額(A)－(C)	1,635,800	4,896,000	△ 3,260,200	
次期繰越収支差額(B)－(C)	30,125,985	33,820,966	△ 3,694,981	

※1、前年度まで教材の印刷製本にかかる費用を「印刷製本費」としていたが、本年度からは「資料教材費支出」とする。

平成高雄灌頂

平成24年10月24日（水）から27日（土）にかけて、京都市右京区の高雄山神護寺で、弘法大師開壇千二百年を記念して、受明灌頂・結縁灌頂が開壇さまされた。

この灌頂は、種智院大学同窓会幹事の大塚知明師（平成２）が委員長となり、同窓会員を中心に実行委員会が組織され、神護寺の全面協力のもと企画・運営されたものです。

この慶事に同窓会も協賛し、甲田宥畔先生を大阿にお迎えして、伝法灌頂『野沢通用式』講習会（伝授）を開催し、180名のかたが受法されました。また総会の承認を得て200万円を協賛金として支援しました。

灌頂は、同窓会顧問、総本山泉涌寺長老上村貞郎大僧正（昭和36）を大阿にお迎えし、24日（水）13時30分より堂上による三昧耶戒、25日9時から胎蔵界受明灌頂、26・27両日も9時から胎蔵界結縁灌頂を開壇しました。受明灌頂には約200名、結縁灌頂には両日で約千名のかたが入壇され、投華得仏の結縁の尊の印明を授かりました。

メッセージと近況

本年度総会出欠ハガキの通信欄にご記入いただきました内容を一部ご紹介いたします。これからも近況報告など、皆様のメッセージを是非お寄せください。

（卒年順・敬称略）

氏　名	年次	内　容
水谷　修夫	昭17	現在心不全と慢性腎不全（慢性透析療法実施）の為欠席。91才。
金田修二郎	昭18	体調不良がつづき遠出ができません。近くの病院へ通院するのが精一杯です。催物や行事に参加できず申しわけないと思っています。
番場　實亮	昭20	会の益々のご発展を願っております。卒業してから66年の歳月が夢のように流れました。毎日元気で頑張っています。奨学金気持（少しですが）振り込みました。
川村　俊朝	昭22	冠動脈のバイパス手術2度、腹部大動脈瘤で人工血管の手術、その他のため体調全くの不良。通院以外の外出はしたことがない状況です。
蓮沼　雅春	昭23	時々京都にお参りにゆきます。体調は少し弱くなりました。自治会の仕事はしています。
新野　正憲	昭24	体調不良。盛会を祈ります。
足立　有教	昭28 ？	老齢の為、会合等への出席は控えるようになりましたが地域の通所デイサービスを利用するなど元気にて過ごして居ります。総会並に懇親会の盛会を祈念しております。
三ツ芳　順	昭31	住職50年も過ぎぼつぼつ田舎の堂守りをしています。
向田　雅昭	昭31	檀信教化の傍、旧車趣味に浸っております。
吉水善無畏	昭41	日、西山に迫る!
松尾　初子	昭45	卒寿をこえましたが、元気にさせていただいております。御盛会をお祈り致しております。
幡山　寛念	昭51	当日、地鎮祭の為、時間が取れず欠席致します。
白川　密峰	昭60	寺の年中行事があり出席できません。申し訳ございません。
篠原　信朗	昭61	明日の無い、この賤命なれども、あさましくも娑婆世界にしがみ附いて、愚活させて頂いております。御会は、法滅尽の後世界までも盛輝昶栄ならん御慶を御祈念致しております。
山下　俊彦	昭62	お誘いありがとうございます。仕事の都合で出席できず申し訳ございません。現在、指定障害者支援施設に勤務しております。
中村　宗玄	昭63	昨年に続き出席したかったのですが、仕事の為止むを得ず欠席とさせて頂きます。
堀　　健晃	平元	相変わらず元気にすごさせて頂いております。
阪口　典子	平元	毎日、（株）テーブルアートに勤務しています。
山方　恵里	平06	H22年12月に第1子誕生しました。
伊東　知子	平09	お陰様で無遅刻無欠勤でがんばっおります。家族皆元気にしております。
長安健一郎	平10	元気に地元でがんばっています。
高橋　賢光 （中島　康子）	平11	私事ですが、H24.4.6 PM12:11　元気な男の子を無事に無事に出産いたしました。おかげ様です。ありがとうございました。どうしようかと思いましたがこれからです。大学の行事に参加したく思いましたが、今は願うばかりです。会の成功をお祈りいたします。引っ越しをし住所がかわりました。
小保方敬子	平12	平素はお世話になり、誠にありがとうございます。又、この度は総会開催のご案内をご送付頂き、重ねて御礼申し上げます。当日、勤務日のため、欠席させて頂きます。今後とも宜しく願い致します。
鈴木　奈々	平15	いつも行けなくてすいません。出来たら日曜日でしたら行けます。
喜多川義大 （俊和）	平16	相変らず、宝塚の平林寺成就院にて勤めております。
池上　聡一	平17	今回も出席できなくてすみません。大阪メディカルサービスにつとめております。これからもよろしくおねがいします。
太田　多彦	平17	グループホーム介護職員として働いています。
早川　大亮	平18	お陰様で無遅刻無欠勤でがんばっおります。
坂地　政哉	平18	元気で暮らしております。実家に戻りました。アイドルにはまっており、6/17（日）に難波のライブハウスに行きます。
嶋谷　祥子	平19	大阪で、講師をしながら、教員採用試験を受け続けています。
北岡　聡士	平20	葬祭関連業に従事。
水谷　俊彦	平20	自坊に勤めています。
藤沢　　咲	平21	私の地元である十津川村は、昨年台風被害に遭い、今でも各所で工事が行われていますが、おおむね復旧してきました。様々な方に支えられているおかげです。心配して下さった方々、本当にありがとうございます。機会があればぜひ十津川村へいらして下さい。私自身は向島の「あじさい苑」に介護職として勤めています。見かけたら声をかけていただけると嬉しいです。
茨山　あや	平22	精神保健福祉士として働いています。
山口　泰成	平22	今回は、外せない用事があるため参加が出来ません。また機会があれば、このような行事に参加させて頂きたいと思います。
坂田　正博	平23	只今、宇治市役所障害福祉課に1年間の非常勤嘱託として勤めています。障害程度区分の認定調査員として研修中で、今後は宇治市内を調査のため、訪問していきます。
浅見　次郎	平23	只今、高野山専修学院にて学んでおります。（母代筆）
遠藤　隆尚	平23	高野山専修学院研究科修行中です。
渡部　裕子	平23	種智院大学の真なる発展を心から願っております。
佐々木龍宝	賛助	高野山大学との合併を希望します。

会員消息

お慶び　心からお慶び申し上げます

谷村　秀格(谷保洋一郎)様(平成12年)	平成23年12月４日御結婚
上條宥恭様(平成17年)	平成23年11月19日御結婚
酒井崇雅様(平成９年)	平成23年12月15日御結婚
田立智暁様(平成14年)	平成24年２月11日御結婚
工藤顕任様(平成20年)	平成24年３月３日御結婚
増田恵子様(平成10年)	平成24年４月29日御結婚
幡山益聖様(平成19年)	平成24年５月20日御結婚
岡田隆弘様(平成19年)	平成24年６月23日御結婚
原田省吾様(平成24年)	平成24年10月13日御結婚
宇喜多良充様(平成15年)	平成24年11月11日御結婚
石森俊明様(平成14年)	平成24年11月18日御結婚
上田勝真(中島進)様(平成19年)	平成24年11月18日御結婚
上杉照史様(平成19年)・小野寺恵様(平成21年)	平成24年11月18日御結婚

お悔やみ　謹んでお悔やみ申し上げます

金田純一郎様(賛助)	平成24年１月御逝去
谷口光明猊下(昭和24年)	平成24年２月御遷化
菊入卓如師(昭和31年)	平成24年２月御遷化
川崎龍性師(昭和24年)	平成24年５月御遷化
酒井昌幸様(昭和62年)	平成23年７月御逝去
宮川一蔵様(昭和24年)	平成23年９月御逝去
奥寺知光師(昭和23年)	平成23年３月御遷化
手嶋千俊師(昭和24年)	平成24年７月御遷化
峯　裕雅師(昭和59年)	平成24年７月御遷化
池永禅光師(昭和24年)	平成24年９月御遷化

○谷口光明大僧正略歴

種智院大学同窓会顧問で、真言律宗前管長、総本山西大寺前長老の谷口光明大僧正が平成24年２月６日、世寿91歳をもって御遷化されました。ここに謹んで哀悼の意を表します。

谷口大僧正は、大正11年11月30日生まれ。昭和24年に京都専門学校をご卒業後、27年三重県名張市本要寺住職にご就任されました。

その後は、昭和48年に真言律宗財務・庶務部長、総本山西大寺執事、61年宗務長兼財務部長、執事長の要職を勤られました。平成５年大僧正に補任され、平成８年には真言律宗第７代管長、総本山西大寺第70世長老にご就任され、以来20年に退任されるまで３期12年にわたりお務めになり、宗団の発展と本山の興隆に尽力されました。

また、西大寺保育園・幼稚園の理事長・園長をはじめ、関係各機関等の要職も勤められ、その功績から昭和58年藍綬褒章、平成６年には勲五等双光旭日章を受賞されるなど、地域発展、児童福祉・教育に貢献され、その遷化が惜しまれています。

○川崎龍性大僧正略歴

種智院大学同窓会参与・京都支部長で、真言宗智山派集議、六波羅蜜寺長老の川崎龍性大僧正が平成24年５月９日世寿83歳をもってご遷化されました。ここにご生前のごご厚意を偲び、謹んでご冥福をお祈りいたします。

川崎大僧正は、昭和３年10月３日京都市のお生まれで、師川崎弁龍和尚の室に入り、昭和24年３月京都専門学校を卒業されました。昭和29年六波羅蜜寺住職、智山派財政審議委員、智積院護持委員、智山派教化部長、智山派教学財団理事長等の要職を歴任され、平成３年菩提院結衆、同10年六波羅蜜寺長老、同14年集議席、定額位。

また宗外においては、教徒地方裁判所・簡易裁判所司法委員、仏教同友会会長、教徒仏教クラブ副会長、スリランカ国マヒンダ社会福祉協会名誉理事長などを務め、平成13年最高裁判所長官表彰を受けられました。

さらに六波羅蜜寺の収蔵庫建設、本堂解体修理、第二収蔵庫・防火施設、研修道場の建立など、宗外で活躍され、ご遷化が惜しまれています。

○手嶋千俊師略歴

種智院大学同窓会参与で、総本山仁和寺御室流華道総司庁元華務長の手嶋千俊師が平成24年７月19日世寿89歳をもってご遷化されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

手嶋和尚は、大正13年７月９日生まれで、昭和20年京都専門学校を卒業されました。昭和30年仁和寺華道部長・事務長、いけばな芸術協会理事・常務理事などを歴任され昭和63年密教学芸賞を受けられました。

近年は新流派「いけばな京花傳」を創立され、華道の普及に努められており、ご遷化が惜しまれています。

聖教の頒布

これまで同窓会特別事業で作成した聖教の余剰分について、以下の通り頒布いたします。

頒布聖教

No.	聖教名	頒価
1	石山寺相承　保寿院流聖教	48,000円
2	結縁灌頂声明集　※残部僅少	10,000円
3	具支灌頂式 延命院・伝法灌頂三巻式 野沢通用式（長谷寶秀師写本）	15,000円
4	伝法灌頂『野沢通用式』概説（甲田宥吽師著）	3,000円

お申し込み方法

頒価及び、No.２～４は送料500円を合計した金額を郵便振替で下記口座または現金書留で同窓会事務局宛ご送付ください。

振込先
口座番号　００９７０－４－１０５９９４
加入者名　種智院大学同窓会記念事業実行委員会
※振込手数料は各自ご負担下さい。領収書は、振替払込の受領証を以て代えさせていただきます。

送　付
No.２～４はエックスパック500でお送りします。
No.１およびエックスパックに入らない場合は、宅急便着払扱いになります。
詳細は同窓会事務局宛お問い合わせください。

入学試験のご案内

■平成25年度種智院大学入試日程

入試種別	出願期間	試験日	合格発表	手続締切
指定校推薦２（専願） 一般公募推薦２ 宗門関係者入試３ 社会人入試３ 編入学試験３	11/27（火）～12/11（火）	12/16（日）	12/22（土）	1/ 7（月）
一般入試１ 宗門関係者入試４ 社会人入試４ 編入学試験４	1/ 8（火）～1/22（火）	1/27（日）	2/2（土）	2/18（月）
一般入試２ 宗門関係者入試５ 社会人入試５ 編入学試験５	1/29（火）～2/12（火）	2/16（土）	2/23（土）	3/ 8（金）
一般入試３ 宗門関係者入試６ 社会人入試６ 編入学試験６	2/25（月）～3/11（月）	3/14（木）	3/16（土）	3/21（木）
センター試験利用入試Ａ	1/ 8（火）～2/ 5（火）	個別試験なし	2/16（土）	3/ 1（金）
センター試験利用入試Ｂ	2/25（月）～3/11（月）		3/16（土）	3/21（木）

入試種別	エントリー・相談日	出願期間	入学審査日	合格発表	手続締切
ＡＯ入試２（専願）	12/21(金)～2/21(木)	2/25(月)～3/11(月)	3/14(木)	５日以内に通知	3/21(木)

■入試トピックス

教科型入試の成績優秀者には入学後奨学金を給付します

一般入試2とセンター試験利用入試で、奨学金給付生を選抜します。成績優秀者には入学後に奨学金を給付します。

何回受験しても検定料は同じ3万円です

本学の入学試験は、初回の検定料だけで何度でも受験可能です（専願試験の合格者以外）。あなたの希望する入試パターンや日程にあわせて受験してください。また、これを活用し、教科型の試験で奨学金給付生にチャレンジすることも可能です！

在学中に専修学院への入学が可能になりました

平成24年度から仁和密教学院、嵯峨伝燈学院と連携事業をスタート。これらの専修学院では休学することなく修行を行うことができ、専修学院での授業も単位として認定します。

兄弟姉妹の学費減免制度について

生計を同じくする兄弟姉妹が本学に入学された場合、先に入学されている兄弟姉妹の授業料を半額減免します。

大学案内・入学願書について

ハガキまたはお電話(FAX可)、電子メールでご請求ください。

種智院大学教務課入試担当　TEL 075-604-5600　FAX 075-604-5610　MAIL nyushi@shuchiin.ac.jp

http://www.shuchiin.ac.jp/

INFORMATION

種智院大学同窓会では、会員の皆様の個人情報保護に努めております。ただし今後とも従来どおり種智院大学・学校法人綜藝種智院から各種案内郵送の申し出があれば、会員の皆様へご案内文等を送付することがあります。ご了承のほど、よろしくお願い申し上げます。

平成24年度種智院大学同窓会奨学生

平成24年度の種智院大学同窓会奨学金は、種智院大学長の推薦をうけ、同窓会長・副会長による審査の結果、８月６日下記の３名のかたが選考されました。

○奨学生採択の謝辞

社会福祉学科 3年次210013　向山怜司

この度は、種智院大学同窓会奨学生に採用していただき、誠にありがとうございました。将来は、介護福祉関係の職を目指し勉強しておりますので、ご支援いただき本当に感謝しております。

私は、入学時から現在に至るまでの二年間、介護関係の仕事に携わりたいと考え、勉強してきました。今後もその目標は変わることなく、今以上にはげみたいと思っております。また、自分の人生最後の学生生活も、悔いの残らない生活となるよう、様々なことにチャレンジして行きたいと思っております。そして、大学卒業後は、自分の目標である介護福祉関係の仕事に従事し、社会に貢献して行きたいと思っております。

現在、経済不共が言われる中、支えてくださっている種智院大学同窓会の皆様、そして様々に支援してくださいました全ての皆様に御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

○奨学生に選ばれたことに対してのお礼

社会福祉学科 4年次209016　平井雄貴

この度は、種智院大学同窓会奨学生に採用していただき、誠にありがとうございました。いただいた奨学金は、有効に遣わせていただきます。

種智院大学で、各専門分野の先生方の講義で、いろいろな教えや経験のお話しを聞き、私の大切な知識となりました。それは、何にも代えられない自分だけの財産です。

また、人との関わりを通して得たことも、この4年間で大変数多くあり、自分のスキルアップも出来ました。こうして学んできたことは、生きていく上で必要だと強く思います。そして思うだけでなくこれらを糧に人間的にも成長してきたいと思っているところです。

現在４年次なので、残り少ない時間ではありますが、今まで以上に、学業や、それ以外にも真剣に取り組み、最後の最後まで気を向かず学生生活を意義のあるものにしていきたいと思います。

将来、いかなる場所、環境で社会人になっても種智院大学の学生であったことを誇りに思えるように努めていきます。

○奨学生採択のお礼

社会福祉学科 4年次209018　三宅由希也

今回、種智院大学同窓会奨学生に選考していただき、誠にありがとうございました。

私は現在社会福祉学科の４年次生で、種智院大学に在学している期間もあと少しになりました。入学した当初は、大学の勉強についていけるか、専門領域の資格をとることができるかなどの不安がありました。ですが大学で学んでいるうちに、講義で先生がたの分かりやすい解説で、必要な知識を得ることができました。そして、分からないことがあるときには、先生がたがすぐに親身になって説明してくださいます。

このような種智院大学の雰囲気は、自分の価値観と共感する部分が多く、勉強する環境が整っているため、知識と経験をたくさん学べました。

これらのことができましたのも、経済的に苦しかった私にとって、奨学金で援助していただいたことによるものです。本当にありがとうございました。

これから学生生活は残りわずかですが、気を抜かず今まで以上に学業に専念することや、さまざまな活動でも後悔しないように努めていきたいと思います。